

令和4年度 第1回桜島支所管内の振興に係る地域懇話会概要

日 時	令和4年6月23日(木) 18時30分～20時
場 所	桜島支所
出 席 者	地域懇話会委員、さくらじま地域おこし協力隊、地域活性化アドバイザー、事務局
会 次 第	<ul style="list-style-type: none"> ○委員紹介 ○事業説明 <ul style="list-style-type: none"> ①地域の魅力・活力共創事業の概要 ②支所管内の振興に係る地域懇話会の概要 ③地域活性化アドバイザーによる事業説明 ○協議事項 <ul style="list-style-type: none"> ①桜島地域の地域課題と課題解決の方向性等について
主な意見等	<p>【各委員等からの意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 桜島は資源も特色もあるので、事業者等が繋がって連携していくことが大事。 ○ 桜島の玄関口である桜島フェリーターミナルと島内の事業者や個人とが繋ぎやすくなればよいが、交通の利便性が良くないという物理的な課題がある。 ○ 桜島港フェリーターミナルに島内の飲食店などがパッと見てわかる案内があるとよい。 ○ 桜島に住んでいる人も知らないこともいっぱいある。そういったものを島外の人に知ってもらうことも大事。 ○ 地域の高齢化も進み、交通手段が少なすぎるのが課題。 ○ 文化的な資源や自然資源などあるが、草が繁茂しているので整備が必要。 ○ バスの便が少なく、交通機関が統一されていないのが課題。 ○ 桜島は山も海もあり、のんびりできるいいところだが、病院に行くのにフェリーの交通手段が課題。 ○ 商品にならない農作物があるが、それを活用できればよい。 ○ 農産物の加工品を生産するにも、農家の高齢化が進み、農産物の確保が課題。 ○ がね(天ぷら)など美味しいものがあるので、販売したり、料理の仕方を教えたり、何か活用できればよい。 ○ 交通不便を考えるのと同時に運転免許を返納しない方が増えていくことでの課題も検討する必要がある。 ○ 十島村の人口対策や生活道路としてのフェリーの利便性の確保、地域の特産品のアンテナショップなど、他都市も参考に。 ○ コロナ禍で観光客が激減し、お土産等が売れないことから農家も大変。高齢化も進み、後を継ぐ子どももおらず、ネット販売できない高齢者等は継続も大変。 ○ 農家の人も関わり溶岩グラウンドなどでマルシェとかを開催すれば繋がりが生まれるのではないかな。 ○ 海洋ゴミや釣り人、廃船などの問題もあり、海が汚れてきているので、海をきれいに。 ○ 溶岩に松がかなり生えている。公園規制もあるが何か検討を。 ○ 道が狭いところがある。 ○ 桜島島内で桜島の特産物を購入したり食事したりできる場所を増やして、地元の食材等を島内で消費できる仕組みづくりが必要。 ○ 桜島地域にどうやって来たらもらえるか、暮らしたいと思ってもらえるかを考える必要がある。 ○ いきなり移住はハードルが高いので、空き家等を利用してお試し住宅みたいなものがあるとよい。 ○ 自転車で回る時など、地域内の木陰のベンチでゆっくりできるなど休憩できる場所やトイレなどがあるとよい。 ○ アートに力を入れて活性化に取り組む熊本の津奈木町や人が集まる図書館を利用して地域おこしをしている宮崎の椎葉村など参考に、文化的なものを1つのきっかけ

として広げられないか。

- 桜島に宿泊で来られた際に、夜の遊び場や夜楽しめるコンテンツがあるとよい。

【地域活性化アドバイザー】

- 地域にある情報が地域外に届いていない。島内で完結できるよう食、体験、交流などの情報をきちんと伝えることが必要。
- 今あるものをちゃんと正しく出すということがまずは大事で、景色や特産物もだが、得意分野を持つ島内の「人」にスポットをあてて、人に会いに行き、そこで人生が豊かになる交流ができればよい。

【第2回の地域講話会について】

- 第2回（8月開催予定）の地域懇話会では、本日の委員の皆様からのご意見等を参考に、事務局で地域課題解決の方向性（案）等を作成しお示ししたい。